

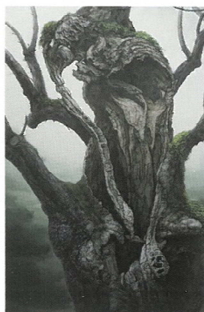
24 文化施設の充実

美術館展覧会開催予定

平田慎一展 時のうつろい

2025年4月12日(土)～5月25日(日)

平田慎一は、1953年に高知市に生まれ、高知大学を卒業後、教職につきながら画業に励み、県展をはじめ一陽会でも活躍し、「時のうつろい」をテーマにした作品を発表しています。



平田慎一《朽ちゆく時間(武蔵の大楠)》2024年

過ぎ行く時間の中で集積するものを表現してきた平田慎一の真摯な姿勢から生みだされた作品を是非、多くの皆さまにご紹介したいと思います。

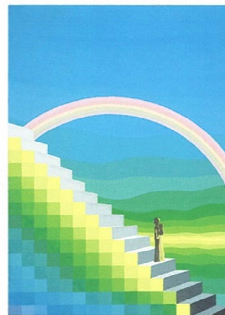
●ギャラリートーク
4月12日(土) 14:00～
場所: 展示室
※予約不要 入場料要

●平田慎一ワークショップ
4月27日(日) 14:00～16:00
「自然木を題材とした鉛筆デッサン」
定員 15名
参加費 1,000円(材料費込み)
お申込みは4月5日(土)よりお電話、または美術館窓口にて

入場料 一般600円(300円)・高校生以下無料

やなせたかしの時代・大正の夢は続く

2025年6月7日(土)～7月21日(月・祝)



『詩とメルヘン』表紙絵 1982年3月号
やなせたかし
(公製)やなせたかし記念アンパンマンミュージアム協賛財団蔵

やなせたかしは大正8年に生まれ、大正時代の自由な空気の中で成長し、世界大戦や高度成長期などの戦後日本の歩みの中で自身の生きる哲学を磨いてきました。やなせと同時代を生きた画家たちの収蔵品とやなせの作品を合わせて展示し、大正時代以降の世の中の歩みと彼らの画業を紹介します。

入場料 一般400円(200円)・高校生以下無料

香美アートアニュアルvol.13 この時代を生きる力

2025年7月30日(水)～8月24日(日)

2013年より当館独自の企画で、高知に縁のある若手アーティストを紹介する場として続けてきたものです。若手作家の力作の数々をご覧ください。

■出品作家■ 刈谷舞花(創作作家)、澤田亮(造形作家)、センコウジヒナ(美術作家)、中平さやか(画家)、平野史恵(美術作家)、森本凌司(アーティスト)



刈谷舞花《ひなめ市場》2024年



澤田亮《コイロポリ》



センコウジヒナ《奇蹟の記憶》2023年



中平さやか《フレッシュ》2014年



平野史恵《とび石》2016年



森本凌司《SHARE》

出品作家によるシンポジウム

8月24日(日) 14時～16時

※掲載作品は展示されない場合があります。

入場料 一般400円(200円)・高校生以下無料

わくわく生きる人生100年

2025年9月6日(土)～10月13日(月・祝)

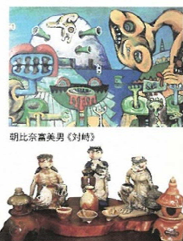
長寿社会の現代において、人生の後半に生きがいを持って生きていくために芸術の果たす役割は重要なものとなっています。独自の手法と考え方を確立し、日々作品制作に没頭し生み出される作品は多くの人をなごませ、楽しませるものとして大きな躍りを放っています。



水田眞士《北へ帰る》



徳久茂《チャレンジヤー》



明比奈高美男《3対4》
高瀬哲男《土佐弁舌士バレンス土佐濱で迎える》

入場料 一般600円(300円)・高校生以下無料

具象から抽象へ・前衛の興亡

2025年11月1日(土)～12月21日(日)



片木太郎《彫刻家の家》1992年

高知県では、県展を中心に昭和30年代に入ると抽象・具象の議論が激しくなり、全国的な前衛運動の流れに多くの画家たちが抽象に走るようになりました。また具象の巻き返しもおこり、抽象と具象が同時に並び立つようになりました。当館収蔵作品に新たな収蔵作品を加え、高知での洋画の歩みを紹介いたします。

入場料 一般400円(200円)・高校生以下無料

怖い話と怖い絵

(高知県立文学館×香美市立美術館)

2026年1月24日(土)～3月22日(日)



小竹青史《四つの顔》1966年

当館と高知県立文学館のコラボ企画で「怖い」をテーマに、より深く掘り下げて「絵」と「言葉」で表現される「怖い」世界をお届けします。

【関連企画】
2館合同展
(香美市立図書館×香美市立美術館)
開催予定

入場料 一般400円(200円)・高校生以下無料

■美術館は下記の活動も行っています。ご要望の際は美術館受付またはお電話(TEL0887-53-5110)にてお問い合わせください。

作品解説

企画展期間中の日曜日に、館長又は学芸員による作品解説を行います。

鑑賞教育

事前の予約により、幼・保・小・中・高校生を対象に展覧会の鑑賞を支援、わかりやすく解説します。

アトリエ

美術サークル活動及び作品の発表の場として貸出しています。

※上記のスケジュールは、2025年3月現在のものです。都合により変更になる場合があります。常設展示はございませんので、上記の展覧会期間以外は休館となります。

2 4 文化施設の充実

文化財説明板設置計画（令和5年度から令和9年度）

香美市内の指定及び未指定文化財並びに国登録文化財の説明版は、老朽化したものから順に改修していたため、素材もデザインも統一されておらず、5年計画でデザインを統一した説明版を順次新設します。3年目となる令和7年度は、大川上美良布神社他3～4施設を予定しており、文化財の保存・活用と観光に資することを目的とします。

令和7年度予定

